

博修士会会報

Alumni Bulletin For K.U.Masters and Doctors 2012年7月1日発行

▲旧大学院学舎内の階段教室



ごあいさつ

関西大学博修士会会長 北嶋 弘一

関西大学博修士会は、昭和27年（1952年）に設立されて以来、本年創立60周年を迎えることができました。会員の皆様におかれましては、ますますご清祥にて各地ならびに各界においてご活躍のこととお慶び申し上げますとともに、平素より本会の運営に対しまして心温まるご助言をはじめ特別協力金のご寄付など数々のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本が戦後かつて経験したことの無い未曾有の東日本大震災に端を発し、タイの洪水、歯止め利かない円高、欧州の通貨危機など極めて厳しい経済状況に見舞われました。本年は少し落ち着きを取り戻してきたとはいえ、復興にはまだまだ時間を要し、被災されました会員および関係者の皆様には一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

関西大学大学院修了生の総数は17,000人に及び、校友会組織の中でも大所帯を誇る同窓会に成長を遂げてまいりました。現在の関西大学大学院は、法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、社会安全、東アジア文化、ガバナンス、理工学、外国語教育学、心理学、法務、会計、臨床心理の15研究科を擁し、博士課程前期課程および同後期課程に専門職学位課程を有する日本屈指の大学院に発展・成長しております。

去る3月21日に挙行されました大学院学位記授与式では、663名の修士と120名の専門職を合せた783名の修了生および

51名の博士を本会の新たなメンバーとして迎えるとともに、昨年9月期の学位記授与式では17名の修士と35名の専門職の計52名の修了生および16名の博士を迎えました。また、4月2日に行われました大学院入学式では15研究科798名のフレッシュな院生を迎え、関西大学の学問および研究の中核として今後の母校飛躍の一翼を担っていただくことを切に期待するものであります。

下記にご案内のとおり、来る7月1日（日）には創立60周年を記念した平成24年度博修士会総会・学術講演会を開催いたします。本年度の総会後の学術講演会および懇親会は、関西大学女子秀麗会の皆様と合同で華やかにかつ賑やかに開催することにし、校友会としてより大きな輪を広げようと企画いたしました。学術講演会では、本会会員である関西大学学長の楠見晴重先生（工修55土木）をお招きして、「京都千年の地下水脈」と題した講演をお願いすることになっておりますので、皆様には是非ともご出席戴き学長先生と親しく意見を交わしていただきたいと存じております。

会員の皆様には、公私にわたり大変ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、7月1日（日）、ホテル阪神にて開催の創立60周年記念・平成24年度博修士会総会・学術講演会ならびに懇親会にご出席下さいますようお願い申し上げます。

平成24年度 総会・講演会・懇親会のご案内

日時：平成24年7月1日（日）10：30 受付開始
場所：ホテル阪神
内容：第1部：総会：10F クリスタルルームA
 11：00～12：00
 第2部：学術講演会：10F ザ・ボールルームA
 12：30～13：30
 演題：「京都 千年の地下水脈！」
 講師：関西大学 学長
 楠見 晴重 先生（環境都市工学部 教授）
 第3部：懇親会：10F ザ・ボールルームA
 13：30～15：00
総会・懇親会参加者：会員+会員の紹介者に限定（事前申込：郵便振替）
会費：会員 10,000円（記念品含む）
 御同伴の場合 15,000円
 院生会員は聴講無料、但し懇親会参加費5,000円
お願い：ご出席の方は、6月20日（水）までに事前に郵便振替でお申込みください。

■郵便振替 00900-2-68733
 関西大学博修士会
 通信欄に「総会費」などとお書き下さい。
 ■問合せ先 博修士会総務部
 ■TEL 06-6368-0810
 ■FAX 06-6388-8785
 中原 宛
 ■e-mail nakahara@kansai-u.ac.jp
 ■はがき 〒564-8680
 大阪府吹田市山手町3-3-35
 関西大学システム理工学部
 中原 気付 博修士会



関西大学 学長

楠見 晴重 教授

アクセス：
 詳細はホテル阪神のHPをご覧ください。
<http://www.hotelhanshin.com/web/access/index.html>

関西大学博修士会 創立60周年をお祝いして

学校法人関西大学 理事長 上原 洋允



関西大学博修士会が創立60周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。これまで貴会を支えてこられた皆様のご労苦に対し、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

現在、日本における大学院の進学率は、22歳人口あたりおよそ7%です。これは、終戦直後の、18歳人口における学部進学率とほぼ同じだと言われています。このことから、大学院の役割が変わってきたことは明らかであります。

近年、文部科学省は、「大学院教育の実質化」という言葉を多用しています。これは、大学が考える「大学院教育」と、企業が求める「人材養成」のミスマッチが、見過ごせないほど深刻になっているということでもあります。

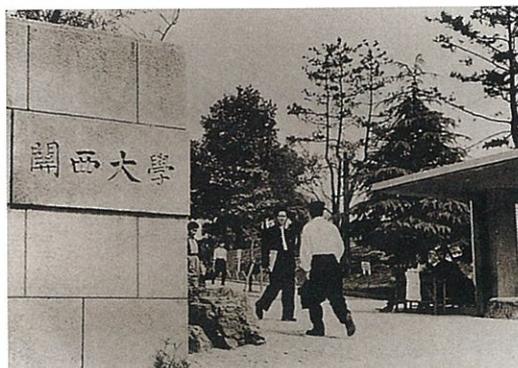
大学院では、創造性豊かな優れた研究開発能力を持つ研究者等の養成、高度な専門的知識、能力を持つ専門職業人の養成、確かな教育能力を兼ね備えた大学教員等の人材養成機能が求められていますが、それが充分機能しているかが、いま問われています。

本学においても、大学院教育の国際的な通用性と信頼性の向上や、企業からの要請に応える幅広い人材養成能力の向上のためには、各課程、専攻ごとの人材養成の目的を明確にすると共に、それに即した教育研究体制の構築やその実施を促進する必要があります。

博修士会の皆様には、これまでの貴重なご経験のもとに、積極的な大学院改革をご提言いただき、本学大学院が、関西、ひいては日本屈指の教育研究機関として発展するよう、お力添えをお願い申し上げます。



▲昭和24年大学院



▲昭和27年正門

関西大学博修士会 創立60周年を祝して

関西大学学長 楠見 晴重



このたび関西大学博修士会が創立60周年を迎えられますこと、誠に慶ばしく衷心よりお祝いを申し上げます。

「光陰矢のごとく」、1952（昭和27）年の関西大学博修士会の創立から60年。今では、修了生の総数17,000名に迫る大規模な組織として成長されておられ、修了生は、研究機関、教育機関はもとより、国、地方自治体、法曹会、経済界、マスコミ界、産業界等、各界で多岐にわたってご活躍されておられます。会員の皆様には、創立から今日まで、つねに母校に想いを寄せ、本学の発展にご尽力いただいております。学長として心からの敬意を表しますとともに、感謝いたします。

関西大学大学院は、1950（昭和25）年に新制大学院として設置され、当初は、法学研究科、文学研究科、経済学研究科の修士課程3研究科での設置でした。1953（昭和28）年には、同3研究科の博士課程を設置し、その後は、社会や学生のニーズ、さらには研究分野の多様化に適應するために、今日まで様々な分野の研究科・課程を開設してきました。その後、2004（平成16）年には、専門職大学院を新たに加え、関西大学大学院は、現在では、12研究科、3専門職大学院を有する総合大学院に成長し、高度な専門知識を身に付けた優秀な人材を数多

く輩出してまいりました。

関西大学大学院で高度な技術や知識を身に付けるために、あるいは真理の探究のために日夜研鑽を積んできた修了生諸氏は、現在の仕事にもその成果は、十分生かされていると思われまふ。そして、何よりも、学位授与に向けて努力された毎日の地道な歩みの積み重ねは、どのような分野であっても何物にも代えがたい貴重な経験として、現在皆様のご活躍されているそれぞれの分野で、大きな力になっておられるものと確信いたします。

関西大学は、創立から126年を迎え、今では、学部・大学院を併せて3万人を超える学生が、諸先輩に続いて、自らの知識を高めるために学んでおります。関西大学は、意欲と熱意をもったこれらの志高い学生に対し、充実した教育・研究が行えるよう、さまざまなプログラムを用意し、教育・研究環境の充実に努め、国内はもとより海外でも活躍できる人材を輩出していく所存です。

関西大学博修士会の皆様におかれましては、今後とも関西大学の教育、研究、社会貢献の諸活動にご理解いただき、一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、関西大学博修士会の更なるご発展と、皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

大学院教育に 求められているもの

関西大学副学長（教育推進担当） 市原 靖久



関西大学博修士会が本年めでたく創立60周年を迎えられた。本学学士課程教育とともに大学院教育の推進をも担当している副学長として、また、かつて本学の修士・博士課程で学んだ者として、心からお慶びを申し上げたい。

私が本学の修士・博士課程に在籍していたのは1978（昭和53）年から1983年（昭和58年）までの5年間であり、この間、研究についてはもちろんのこと、人間としての生き方に至るまで、指導教授から厳しい鍛錬を受けた。私の大学院時代は、文字どおり、徒弟修行の時代であった。

しかし、こうした古典的大学院像は急速に過去のものとなりつつある。まず、設置形態面では、1991（平成3）年の大学設置基準の改正により、独立専攻、独立研究科、独立大学院の設置が、また、複数の大学が共同して設置する連合大学院の開設が認められるようになった。そして、教育内容の面では、2005（平成17）年の中教審答申「新時代の大学院教育」で、大学院教育の実質化（教育課程の組織的展開の強化）、国際的な通用性や信頼性の向上（大学院教育の質の確保）が提言され、これを受けて、2006（平成18）～2010（平成22）年度までの5カ年を対象とする「大学院教育振興施策要綱」が文部科学省によって策定された。

本学大学院でも、2009（平成21）年2月、前大学執行部のもとで「大学院活性化のための改革案」が提案され、これに基づいて、各研究科では、博士課程前期及び後期課程における教育カリキュラムの改革、社会人大学院生の受け入れ、大学院留学生の受け入れなどの取組が鋭意進められており、また、理工学研究科では、学外研

究機関と連携して大学院生の研究指導を行う連携大学院方式も導入されている。

中教審は、2011（平成23）年1月、「グローバル化社会の大学院教育」（答申）を発表したが、文部科学省は、先の「新時代の大学院教育」とこの新しい答申を踏まえて、2011年8月に、2015（平成27）年度までの5カ年を対象期間とする「第2次大学院教育振興施策要綱」を策定した。

この第2次施策要綱で、文部科学省は、（1）学位プログラムに基づく大学院教育の確立（課程制大学院制度の趣旨に沿った教育、学生の質を保證する組織的な教育・研究指導體制の確立、実効性のある大学院評価の取組の推進）、（2）新たな社会の創造・成長を牽引する博士の養成（前期・後期一貫した博士課程教育の確立、社会の創造・成長を牽引するリーダー養成と世界的な大学院教育拠点の形成）、（3）社会との対話と連携による教育の充実と、学生が将来への見通しをもてる環境の構築（教育情報の公表の推進、学生が将来への見通しをもって学ぶ環境の整備、社会との連携の強化と多様なキャリアパスの確立、若手教員等の教育研究環境の改善）、（4）大学院教育のグローバル化の推進（国際的な連携・交流と質保障の推進、外国人・日本人学生の垣根を越えた協働教育）、（5）専門職大学院の質の向上、を謳い、これにそった具体的な施策を次々と打ち出している。

本学大学院も、こうした諸施策に可能な限り対応しつつ、大学院教育の更なる充実を図っていかなければならぬであろう。博修士会の会員諸氏には、倍旧のご理解とご支援をいただきたい。

関西大学博修士会 創立60周年のお祝い

関西大学校友会 会長 寺内俊太郎



関西大学博修士会が創立60周年を迎えられ、心からお祝いしお慶び申し上げます。

本学は第二次大戦後の学制改革に伴い、新制大学に移行し教育内容の充実を図り、他の大学に先駆けて新制大学院を設置され、3研究科でスタートしました。その後目覚ましい充実を図られ、現在は法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、社会安全、東アジア文化、ガバナンス、理工学、外国語教育学、心理学、法務、会計、臨床心理の15研究科を擁する博士課程前期課程および同後期課程に専門職学位課程を有する日本有数の大学院に発展してきております。

この発展と同調して、博修士会はこの間の修了生総数約17,000名を擁し、我が校友会の中でも大所帯の組織を誇ります。

皆さまは、学部教育を終えた後、更なる研究の歩みを進められ研鑽を積まれた方々ばかりで、本学の学問・研究の中核を担ってこられ、大学の柱であり大きな使命である教育・研究面の充実発展に多大な寄与をいただき、母校の飛躍にご貢献をいただいていることは、誠に喜ばしくその熱意に心からの拍手を送りたいと存じます。

貴会の最大の特徴は、会員の方々がご活躍されている場として多方面に亘っていることであり、法曹会・経済界・教育界・マスコミ界・産業界など、各界で活躍されておられます。専門能力を発揮されておられる皆さまが、その異業種交流の場によって新たな知識を生み出し、意欲を掻き立てるサイクルとなることは想像に難しく、異なる価値観がそれぞれの方にとっても貴会にとっても益々幹をたくし、枝葉を広く伸ばし共に成長されているのを大変心強く思います。

今、「強い関西大学」を支える「元気な校友会」として、「総力結集、創意工夫、熟慮実行」を会是として掲げております。そのためには40万人校友の活躍が支えであり、先行き不透明な社会にあって、各界でご活躍の皆さま方が各界でのオピニオンリーダーとして、母校をそして日本、世界を力強く導かれることをご期待申し上げます。

貴会および会員の方々の、今後益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。



▲学術フロンティア・コア

関西大学博修士会 60周年をお祝いして

関西大学女子秀麗会会長 仁井ひろみ



このたび関西大学博修士会におかれまして、創立から60周年を迎えられましたことまことに慶賀にたえません。心よりお祝いを申し上げます。

年1回会報を発行され、学術講演会の開催など積極的に活動され、会員の皆様が法曹界・経済界・教育界・マスコミ界・産業界など多方面でご活躍され、母校に貢献してこられたことに心から敬意を表します。関西大学女子秀麗会とは昭和58年に初めて合同総会を開催して以来交流が続いています。当会の30周年にあたる平成20年の合同総会では貴会の会員であり母校政策創造学部の白石真澄教授に「少子社会、これで解決！」と題してご講演をいただき、活気あふれる総会となりました。同じ学び舎で学んだ記憶の中、春の入学は冬からの解放

感、溢れる希望、学内の満開の桜が浮かびます。桜前線の報道や各地の行事に、僅か数日の開花をどれほど人は待ち焦がれているかを感じます。しかし、その後桜の「木」の存在を意識する人は僅かであり、本当に大切な1年の残り大半の手入れ、それまでの成長に思いを馳せることはほとんどないでしょう。大変難しいとされる桜の接ぎ木は、花が咲くかどうかわかるのは20年を経てと言われます。教育、研究も相当の年月を要し、困難を極めることも多いと思います。

貴会が人の交流に歩んでこられた道のりが積重なり、絶え間ない探究心と共に新たな広がりへ繋がることを切に願います。今後の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



▲桜・図書館・時計

関西大学博修士会 創立60周年を迎えて

院修経27 藤井 昭三



平成24年初めに、関西大学博修士会理事会が2月末日に開催される旨の案内書の中に「本会が今年創立60周年を迎えるに当たり記念総会を開催し記念行事などを行う準備をする」旨の記述があり、これを見て、とっさに是非記念すべき盛大な総会を成功させるべきではないかとの文書を会長宛に連絡してしまいました。そんなことがあったためか、過日広報部長から、関西大学博修士会会報60周年記念号に投稿するよう依頼を受けました。

思えば、我々が新制大学院の第1期生として入学したのが昭和25年4月で、62年前のことであり、記憶が薄れてきているが、おそらくこれが私の最後の会報発表であろうことを考え、お受けした次第です。

第1期生が新修士として誕生したのは昭和27年3月のことです。修士記授与式の後の謝恩会で、かねてから準備していた修士会創立の件が議題となり、法学研究科の宮田輝穂君が提案して、満場一致で可決承認され、めでたく関西大学修士会が誕生したのであります。本会創立時の発起人は、法学研究科の宮田輝穂君、文学研究科の安橋貞雄君、そして経済学研究科の藤井昭三の3名でした。当時は法・文・経の3研究科のみで修士記授領者は合計55名でした。

そもそも修士会創立の構想は、宮田輝穂君の発案で、彼は薬局を営みながら大学院生となり、我々の指導的役割を果たしていました。いよいよ修士記授与式が近づいた或る日、3人が修士記授与式後のことについて協議していたとき、宮田君から、学部卒業生については、

校友会があるが、われわれにはどんな組織もない。これでは新修士記取得者がばらばらになってしまうので、何か組織をつくってはと提案があり、当時は55名の会員ではあるけれども、今後ますます増加するであろうと思われ、修士記取得者であるから修士会でどうかとなり、前述のとおり修士会と名称が決まった次第です。役員人事については、初代会長に宮田輝穂君、副会長に安橋貞雄、藤井昭三の2名が就任しました。

その後、博士課程修了者も入れて、名称も博修士会と改名され、会員もいまや2万名近くになり、校友会の主要メンバーにもなり、立派に成長してきました。研究科も商学、工学、社会学、総合情報、社会安全など多くの研究科が誕生し、ますます発展してきています。同窓の中からも多くの教授や名誉教授を輩出して、学内でも高く評価されてきています。本会創立当時の主要なメンバーである宮田輝穂君、安橋貞雄君（2代会長）、佐々木砂夫君（3代会長）など優秀な人物は故人となってしまいました。しかしながら、本会創設時からの会員相互の親睦と学術研究に資することは今後ますます重要な意義をもってくるものと考えられます。

今後、創立60周年を記して本会が尊重され、また会員にとっても大きなよりどころとなることを期待しています。

本会のますますの充実と発展を祈念して、拙い一文を終えます。

写真でたどる 大学院の最近の10年

大学院の近況

2002(平成14) 3月3日

2004(平成16) 4月

2005(平成17) 4月

2007(平成19) 4月

2006(平成18) 4月



▲現在の千里山キャンパス



▲高槻キャンパス大学院棟



▲尚文館

2006(平成18)11月4日

2009(平成21) 4月

2010(平成22) 4月

2011(平成23) 4月

2012(平成24) 4月

博修士会 創立50周年記念日

法科大学院・法務研究科(専門職学位課程)法曹養成専攻(法科大学院 設置)

法学研究科(博士課程・前期課程)法学・政治学専攻(改組)

文学研究科(博士課程・前期課程)総合人文学専攻(改組)

文学研究科(博士課程・後期課程)総合人文学専攻(改組)

会計専門職大学院・会計研究科(専門職学位課程)会計人養成専攻(会計専門職大学院 設置)

工学研究科(博士課程・前期課程)システムデザイン専攻(改組)

工学研究科(博士課程・前期課程)ソーシャルデザイン専攻(改組)

工学研究科(博士課程・前期課程)ライフ・マテリアルデザイン専攻(改組)

工学研究科(博士課程・後期課程)総合理工学専攻(改組)

社会学研究科(博士課程・前期課程)社会システムデザイン専攻(産業社会学専攻から名称変更)

社会学研究科(博士課程・後期課程)社会システムデザイン専攻(産業社会学専攻から名称変更)

心理学研究科(博士課程・前期課程)認知・発達心理学専攻(設置)

心理学研究科(博士課程・前期課程)社会心理学専攻(設置)

心理学研究科(博士課程・後期課程)心理学専攻(設置)

関西大学創立120周年記念日

心理学研究科(専門職学位課程)心理臨床学専攻(臨床心理専門職大学院 設置)

理工学研究科(博士課程・前期課程)(工学研究科から名称変更)

理工学研究科(博士課程・後期課程)(工学研究科から名称変更)

社会安全研究科(修士課程)防災・減災専攻(設置)

東アジア文化研究科(博士課程・前期課程)文化交渉学専攻(設置)

東アジア文化研究科(博士課程・後期課程)文化交渉学専攻(設置)

ガバナンス研究科(修士課程)ガバナンス専攻(設置)

社会安全研究科(博士課程・前期課程)防災・減災専攻(改組)

社会安全研究科(博士課程・後期課程)防災・減災専攻(新設)

大学院・博修士会の近況

1952(昭和27) 3月3日

2002(平成14) 3月3日

2002(平成14) 9月21日

博修士会 創立

博修士会 創立50周年記念日

平成14年度総会

新会長 天井 一夫氏

副会長 北嶋 弘一氏ほかを選出



▲以文館授業風景



▲大学院論集



▲院生研究会



▲現在の正門

2003(平成15) 7月1日
2003(平成15) 7月26日

「博修士会会報」平成15年号発行
平成15年度総会
(於) 尚文館
学術講演会「法科大学院の開設に向けて」
関西大学法学部教授(関西大学法科大学院設置準備委員会委員長) 山中 敬一先生

2004(平成16) 7月1日
2004(平成16) 7月31日

「博修士会会報」平成16年号発行
平成16年度総会
会長 天井 一夫氏再選
会則改正(現院生を会員とする件)を承認
(於) 尚文館
学術講演会「裁判員制度について」
関西大学法科大学院教授 石井 一正先生

2005(平成17) 7月1日
2005(平成17) 7月30日

「博修士会会報」平成17年号発行
平成17年度総会
(於) 尚文館
学術講演会「アカウンティング・スクールの開校に向けて」
関西大学商学部教授 柴 健次先生

2006(平成18) 7月1日
2006(平成18) 7月22日

「博修士会会報」2006年号発行
平成18年度総会
新会長 北嶋 弘一氏選出
(於) 凜風館
学術講演会「新しい金属部品製造技術(MIM)のタイ王国への技術移転について」
大阪冶金工業(株)代表取締役社長 寺内 俊太郎氏

2006(平成18)11月4日
2007(平成19) 7月1日
2007(平成19) 7月28日

「博修士会会報」2007年号発行
平成19年度総会
(於) 第1学舎
学術講演会「日本経済とトヨタの課題」
トヨタ自動車(株)専務取締役・生産技術本部長 井川 正治氏

2008(平成20) 6月1日
2008(平成20) 6月28日

「博修士会会報」2008年号発行
平成20年度総会
会長 北嶋 弘一氏再任
(於) リーガロイヤルホテル
学術講演会「少子社会、これで解決！」
関西大学政策創造学部教授 白石 真澄先生

2009(平成21) 6月1日
2009(平成21) 8月1日

「博修士会会報」2009年号発行
平成21年度総会
(於) 関西大学校友・父母会館
学術講演会「バイオリバーとは！—高速水着から医療素材の開発まで—」
山本化学工業(株)代表取締役社長 山本 富造氏

2010(平成22) 7月1日
2010(平成22) 7月31日

「博修士会会報」2010年号発行
平成22年度総会会長 北嶋 弘一氏三選
(於) 関西大学 高槻ミューズキャンパス
学術講演会「防災・減災について！」
関西大学社会安全学部長 河田 恵昭教授

2011(平成23) 7月1日
2011(平成23) 7月30日

「博修士会会報」2011年号発行
平成23年度総会
(於) 関西大学 堺キャンパス
学術講演会「グローバルスタンダードからみた日本の大学」
関西大学人間健康学部長 竹内 洋教授

2012(平成24) 3月3日
2012(平成24) 6月4日
2012(平成24) 7月1日

博修士会 創立60周年記念日
「博修士会会報」2012年号発行
平成24年度・創立60周年記念総会
役員改選
(於) ホテル阪神
学術講演会「京都 千年の地下水脈！」
関西大学学長(環境都市工学部教授) 楠見 晴重先生

関西大学博修士会 創立60周年に際して

—学生時代の思い出と 教員としての我が思い—

関西大学名誉教授 末政 芳信



この度、関西大学大学院修士課程の第一期生が、昭和27(1952)年に卒業した後に創立された関西大学博修士会が60周年を迎えたこと大変おめでとうございます。その修士課程の一期生の一人として嬉しく思い心からお喜び申し上げます。そこで、私が関西大学に入学させていただいてから、7年間の学生時代の思い出を、懐かしく思いながら、まず書かせていただきます。

私は昭和20年3月(第2次世界大戦中)に郷里に近い兵庫県立姫路商業学校(旧5年制)を卒業して、天六学舎の関西大学専門部商科(第一部)に入学しました。姫商時代には5年間剣道部に在籍し、また簿記の勉強も熱心にしました。専門部に入学した後、第2次世界大戦後剣道部が禁止となったので、専門部では簿記・会計学の勉強に集中し、植野郁太先生の講義を聞き、級友の中の公認会計士を目指す仲間と一緒に努力しました。

昭和23年4月には、関西大学商学部(一部)に編入学し、公認会計士試験を目指し、会計学関係の諸科目を特に勉強し、植野郁太先生のゼミの一期生としてご指導を受けました。その植野ゼミでは、公認会計士を目指す友人が多く、喜んでいました。このゼミ在籍中の昭和24年6月の公認会計士第2次試験(第1回)に、幸運にも合格でき、私の人生の進むべき方向が決まりました。

昭和25年3月の商学部卒業後、新設された関西大学の新制大学院では、会計学関係のゼミ開設がなかったため、経済系の財政学の藤谷謙治教授のゼミに入り、税制

論の勉強を行い、公認会計士の実務補習のための第3次試験受験の準備勉強をもしました。幸いにも、税制論ゼミ専攻のため、税理士試験への税法科目免除も受けられました。修士課程では、税制論の勉強と公認会計士実務補習のための勉強に努力をしました。大学院修士課程修了後、昭和28年12月には、念願の公認会計士第3次試験にも合格できました。

昭和27年の修士課程卒業後、公認会計士の業務補助のため会計士補実習を受けておりましたが、商学部ゼミの恩師植野先生の会計学の助手として、昭和28年6月に採用されました。それ以来、平成10年3月の定年まで約45年間、関西大学商学部ならびに大学院商学研究科の教員として勤務させていただくことができました。学生時代から、専任教員および定年後の非常勤講師等の期間を入れると、今日まで、関西大学に約67年間の長きに亘り、温かくお世話になりました。私の人生の殆どが関西大学のご好意によるものと、その御恩は忘れることはできません。さらに、教員在職中、昭和58年に関西大学大学院で「商学博士」の学位を授与され、また昭和60年は関西大学大学院部長の要職に就任させていただいたことは光栄でした。さらに関西大学のご推薦で、平成18年には、恐れ多くも宮中で榮譽ある叙勲を拝受する光栄に浴し感謝しています。

末筆ながら、我が愛する関西大学およびその関係者のご発展とご栄光を、切にお祈り申し上げます。



国際教育と留学生別科

関西大学国際部教授 カイト由利子

この春、本学では新たな出発がありました。本学の国際化構想—GI構想—の一環として、南千里に『日本語・日本文化教育プログラム』が開設され、外国人留学生を対象に、日本語、日本文化などを教える「語学留学コース」、「短期語学研修コース」、「学習支援コース」、「進学コース(留学生別科)」^{*}の4つのコースが設置されました。

「留学生別科」とは、大学の正規課程とは異なる、予備教育を意味します。このコースは、関西大学の学部・研究科を中心に、国内の大学や大学院進学を目指す人材を育成する進学コースです。日本語教育の予備教育機関としては、近畿圏ではおよそ70の日本語学校があり、さらに大学付属の日本語学校も多くあり、中には30年の歴史をもつ学校もあります。そのような状況の中、本学が新たに開設する留学生別科は、「関西大学ならではのプログラム」を目指すものです。

なぜ今、留学生別科設立か。それは、グローバル化した21世紀の社会を生きぬく若者を育てるためです。既成概念にとらわれず、チャレンジ精神をもちつづける能力、外国語によるコミュニケーション能力、海外との文化・価値観の差に興味・関心をもち、柔軟に対応する能力を育成します。これは、経済界の視点だけではなく、学術的にも一般社会にもつながることとされます。これからは、異なる文化・価値観をもつ人と交わり、母語プラス複数の言語で情報収集・発信することが必要でしょう。自分の言語や文化を熟知し、複眼的な視点をもつことが、日本に住んでいても、求められます。

「進学コース(留学生別科)」では、日本語を集

中のに教えますが、知的活動に必要な高度な論理的・分析的・批判的思考力を兼ね備える学生の育成、地域コミュニティとの交流を通して異文化適応能力を培い、“One to One”(学生1人にコンピュータ1台)を活用したICT教育などを目指しています。

この新たな出発は、『優秀な外国人留学生を受け入れ、グローバル化したキャンパスで留学生と本学学生達が交流し、互いに切磋琢磨し競い合うこと』を目指しています。本学の教育理念である『国際精神の涵養』と『外国語習得』が、ここにも集約されていると思います。

博修士会の会員の皆様は、ご自分の専門領域に関する知識・知見やスキルを大学院で修められました。その知識をどのように活用するか、何のために活かすかなどは、これからの課題であるかもしれません。留学生別科の出発にかかわってきた教員として、皆様がグローバル社会の一員として、ご活躍されますことを、お祈りいたします。

^{*}「進学コース(留学生別科)」のみ、2012年開設。



▲平成24年度4月 留学生別科入学式

会員からのメッセージ

専門職大学院で学び終えて



会計研究科
山田 健司

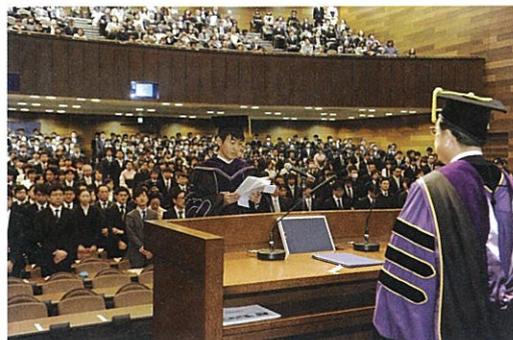
私は、中京大学経営学部を卒業後、株式会社中京銀行に入行し一年間勤務した後に関西大学大学院会計研究科に入学しました。大学在学中から公認会計士を目指し学習に打ち込み、就職後も学習を続けていました。しかし、仕事と公認会計士の学習を両立させる事に限界を感じ、また、公認会計士の学習に専念したいと強く感じて、実務家の方々と接する機会が多い当大学院に進学しました。

入学後は、初めての一人暮らしだったので学業以外にも炊事洗濯など生活面において初めての経験が多く、苦労しましたが、母の苦勞、ありがたさを再認識することができ、とても良い経験になりました。

大学院の講義では、管理会計に興味があったので戦略管理会計、管理会計事例研究、国際管理会計事例研究など管理会計分野の講義を中心に履修し知識を深めました。また、ゼミナールではコストマネジメントシステムや組織業績管理システムなどの管理会計システムにかかわる事例研究を行い、当該事例研究を通じて、関連するバランスド・スコアカードや活動基準原価計算などの管理会計システム理論の理解を深め管理会計システムの背景にある経営環境や戦略意図、組織構造、組織文化等の考察を行いました。さらに、管理会計分野以外の講義でも、実務家の先生方の体験談などを通じ、会計に係わる仕事の面白さややりがいを知ることができたことは、学習に対するモチベーションを維持する上で励みとなり、とてもよかったです。

公認会計士試験の受験勉強では、専門学校と当大学院の自習室で1日12時間以上学習する日々が続きました。肉体的・精神的にもきつく、結果がなかなか出ないなど苦しかった時も何度もありました。しかし、そのような状況でもあきらめずに日々継続して取り組むことにより徐々に結果が出るようになり、日商簿記検定1級、公認会計士試験論文式租税法合格という結果を得ることができました。現在も、本年8月に行われる公認会計士試験論文式で全科目合格ができるよう勉学に励んでいます。

最後になりましたが、無事に卒業できたのも坂口順也先生はじめ本学教職員の皆様、共に切磋琢磨した学友、進学を応援してくれた中京銀行の皆様、友人、そしていままで支え続けてくれた家族のおかげだと強く感じています。本当にありがとうございました。大学院で学んだこと、経験したことを実社会で活かし、還元することができるよう日々精進していきたいと思えます。



▲平成23年度 学位記授与式

博士論文を書き終えて



関西大学経済学部教授
佐々木保幸（平24博経）

今春、博士論文「戦後フランスにおける小売商業政策と小売商業構造変化に関する研究－ロワイエ工法とラファラン法の考察を中心に－」によって、関西大学から博士（経済学）の学位を授与された。

本研究は、私が関西大学経済学部を卒業後、同大学院商学研究科博士課程に入学し、後期課程から取り組んできた研究テーマである。大学院入学以来、恩師の加藤義忠先生には流通経済の基礎理論のみならず社会科学者としてのあり方を教えていただいた。加藤先生の暖かい御指導がなければ、このような研究成果をまとめ、博士の学位を得ることは到底できなかった。加藤先生には、心より御礼申し上げたい。また、商学研究科では故保田芳昭先生からも御指導いただいた。記して感謝申し上げたい。

大学院に入学して、加藤先生から流通経済ないし商業経済の研究を志す者にとって、壮大な先行研究である「森下理論」の手ほどきを受けた。わが国において、現代流通のメカニズムを解明する基礎理論は、加藤先生の師である森下二次也先生の研究に依拠するところが大きい。それゆえ、加藤先生から直接に森下理論を学ぶことができたのは、実に贅沢で貴重な経験であったと思う。

森下理論は、資本主義の自由競争段階における商業資本自立化のメカニズムを明らかにするのみならず、現代流通を解明するための独自の配給理論を提示した。森下理論において萌芽的に示されていたが、本格的な考察対象となっていなかったものが、現代流通と国家との関連を明らかにする

作業であった。

この現代流通と国家との関連の解明というテーマに取り組まれたのが、加藤先生であった。加藤先生は森下理論を継承・発展させながら、現代流通と国家との関連についての研究を進められた。

本研究は、このような流通経済研究の方法論を受け継ぎ、現代流通と国家との関連の解明という課題に対して、フランスを対象として接近するものであった。伝統的に国家の経済活動への介入が強いフランスでは、例に漏れず商業や流通分野への公的介入が強力に行われている。本研究では、わが国でも戦前から継続してきた「大型店問題」（あるいは中小小売商業問題）に対するフランスの小売商業政策の歴史や現状を明らかにした。

最近のわが国をみると、売上高（連結）が5兆円を超える巨大小売企業グループが成立し、資本の集積・集中がいつそう進展する一方で、零細小売業や商店街の衰退が止まらない。その影響は、小売業の競争関係を変化させるだけでなく、私たちの生活する「まち」のあり方まで変貌させている。最近では、「シャッター通り商店街」や「買い物難民」、「フードデザート」と呼ばれる問題が全国的に広がっている。グローバル化の進行は、このような問題をより複雑化すると同時に、大型店問題の世界的な広がりももたらさざるを得ない。

以上のような状況をかんがみると、流通政策研究への社会的要求は大きいと思われる。今後も流通政策の研究に精進していきたい。

総会議案書

〈第1号議案〉

平成23年度事業報告

平成23年4月 1日から
平成24年3月31日まで

[1] 総会に関する事項

開催日時：平成23年7月30日（土）14：00
開催場所：関西大学堺キャンパス
A棟SA201教室（2階）
来 賓：寺内俊太郎 校友会会長
成岡昭二 校友会事務局次長

◇第1部 総会（議事）

- (1) 平成22年度事業報告
- (2) 平成22年度収支決算報告および監査報告
- (3) 平成23年度一般会計収支予算案

◇第2部 学術講演会：関西大学堺キャンパス A棟SA201教室（2階）

演 題：『グローバルスタンダードからみた日本の大学』
講 師：関西大学人間健康学部 学部長 竹内 洋 教授

◇第3部 懇親会

関西大学堺キャンパス B棟食堂

[2] 役員会に関する事項

◇理事会

- 平成23年4月2日（土）17：00
関西大学100周年記念会館 レストラン紫紺「桃源」
（総会・学術講演会・会報発行計画・決算・予算の件、その他）

◇常任理事会

- 平成23年11月28日（月）18：30
関西大学100周年記念会館 レストラン紫紺「桃源」
（平24年度60周年記念総会・学術講演会・会報発行計画）
- 平成24年2月29日（水）18：00
関西大学100周年記念会館 レストラン紫紺「桃源」
（修士記授与式、入会案内・入会受付手続き・記念写真撮影に関する件、平24年度60周年記念総会・記念学術講演会・記念会報発行計画等）

◇その他

- (1) 平成23年4月2日（土）
 - 大学院入学式に出席（千里山中央体育館）（会長コーナ）
学生会員への勧誘資料配布（総務部・広報部・財務部）
- (2) 平成23年4月3日（日）
 - 2011スプリングフェスティバル（千里山キャンパス）に参加（会長コーナ）
- (3) 平成23年6月11日（土）
 - 校友会第97回定時代議員会（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コーナ・総務部）
- (4) 平成23年7月1日（金）
 - 「博修士会会報2011年号」を編集・発行（広報部）
- (5) 平成23年10月16日（日）
 - 平成23年度校友会総会（関西大学BIGホール100）に出席（全部署）
- (6) 平成24年1月14日（土）
 - 校友会新年互礼会（新阪急ホテル）に出席（会長コーナ）
- (7) 平成24年3月21日（水）
 - 学位記及び博士課程後期課程単位修得証書：授与式（関西大学BIGホール100）に出席（会長コーナ）
 - 新会員の入会勧誘資料配布（総務部・渉外部・財務部・広報部・事業部）
 - 記念写真撮影（渉外部・事業部・総務部）

(8) 平成24年3月24日（土）

- 校友会第98回定時代議員会（関西大学100周年記念会館）に出席（会長コーナ・総務部）

〈第2号議案〉

平成23年度収支決算報告書

一般会計収支決算書

自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

項 目	予算額	実行額	差引差額
経 常 収 入	1,071,000	806,119	264,881
1. 会 費 収 入	540,000	210,000	330,000
① 正会費収入	60,000	30,000	30,000
② 院生会員収入	480,000	180,000	300,000
2. 事 業 収 入	180,000	105,000	75,000
① 総会会費収入	150,000	105,000	45,000
② 広告料収入	30,000	0	30,000
3. 雑 収 入 等	351,000	491,119	△140,119
① 雑 収 入	50,000	100,000	△50,000
② 特別協力金収入	300,000	391,000	△91,000
③ 受 取 利 息	1,000	119	881
前 期 繰 越 金	1,825,371	1,825,371	0
合 計	2,896,371	2,631,490	264,881

(支出の部)

(単位：円)

項 目	予算額	実行額	差引差額
経 常 支 出	903,000	688,666	214,334
1. 一 般 管 理 費	213,000	140,476	72,524
① 通 信 費	50,000	36,560	13,440
② 事務用消耗品費	100,000	72,586	27,414
③ 支 払 手 数 料	13,000	11,330	1,670
④ 雑 費	50,000	20,000	30,000
2. 会 議 費	250,000	158,900	91,100
① 総 会 費	200,000	105,000	95,000
② 諸 会 議 費	50,000	53,900	△3,900
3. 事 業 費	440,000	389,290	50,710
① 印 刷 費	350,000	332,950	17,050
② 修士記授与記念写真費	50,000	53,360	△3,360
③ 記 念 品 費	40,000	2,980	37,020
予 備 支 出	30,000	0	30,000
予 備 費	30,000	0	30,000
当 期 支 出 合 計	933,000	688,666	244,334
次 期 繰 越 金	1,963,371	1,942,824	20,547
合 計	2,896,371	2,631,490	264,881

総会議案書

特別会計収支決算書

奨学金特別基金

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

(単位：円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	1,203,958	次期繰越金	1,204,150
受取利息	192		
合計	1,204,150	合計	1,204,150

名簿特別勘定

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 24 年 3 月 31 日

(単位：円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	852,862	次期繰越金	853,000
一般会計より入金	0		
受取利息	138		
合計	853,000	合計	853,000

財産目録

平成 24 年 3 月 31 日現在

(資産の部) (単位：円)

科目	摘要	金額
普通預金	一般会計収支(りそな/難波)	545,713
振替貯金	一般会計収支(ゆうちょ/大阪事務センター)	937,110
通常貯金	一般会計収支(ゆうちょ/大阪事務センター)	460,001
小計		1,942,824
普通預金	特別会計 奨学金特別基金用(りそな/難波)	1,204,150
普通預金	特別会計 名簿特別勘定用(りそな/難波)	853,000
合計		3,999,974

(負債及び正味財産の部) (単位：円)

科目	摘要	金額
正味財産	次期繰越金合計	3,999,974
合計		3,999,974

監査報告書

関西大学博修士会
会長 北嶋 弘一殿

私たちは、平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日に至る一般会計収支決算書、奨学金特別基金および名簿特別勘定の特別会計収支決算書、ならびに財産目録について監査を実施致しました。

監査の結果、上記決算書類は、適正なものであることを認めます。

平成 24 年 4 月 19 日

監事 澤 勲
監事 竿田 嗣夫
監事 水野 一郎

〈第 3 号議案〉

平成 24 年度一般会計収支予算(案)

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

(収入の部)

(単位：円)

項目	24年度予算	摘要
経常収入	1,381,000	
1. 会費収入	300,000	
① 正会員入会金収入	60,000	正会員入会見込 15,000円×4人
② 院生会員入会金収入	240,000	院生会員入会見込 12,000円×20人
2. 事業収入	530,000	
① 総会会費収入	500,000	総会出席見込 10,000円×50人
② 広告料収入	30,000	広告掲載見込 10,000円×3件
3. 雑収入等	551,000	
① 雑収入	50,000	お土産料・記念写真代他
② 特別協力金収入	500,000	
③ 受取利息	1,000	預金利息等
前期繰越金	1,942,824	
合計	3,323,824	

(支出の部)

(単位：円)

項目	24年度予算	摘要
経常支出	1,503,000	
1. 一般管理費	233,000	
① 通信費	70,000	総会・役員会案内発送費
② 事務用消耗品費	100,000	文具・事務用品費
③ 支払手数料	13,000	振込・振替送金手数料
④ 雑費	50,000	
2. 会議費	570,000	
① 総会費	500,000	総会会場費・懇親会費
② 諸会議費	70,000	役員会会議費他
3. 事業費	700,000	
① 印刷費	400,000	会報・総会案内等印刷費
② 修士記授与記念写真費	100,000	
③ 記念品費	200,000	創立60周年記念品代 2,000円×100個
予備支出	30,000	
予備費	30,000	
当期支出合計	1,533,000	
次期繰越金	1,790,824	
合計	3,323,824	

* 予備費の支出は、役員会の承認を得るものとする。

〈第 4 号議案〉

役員改選

〈第 5 号議案〉

その他

879名の新博修士誕生、 新入生798名を迎える

平成23年度関西大学大学院学位（修士・専門職）記授与式が、3月21日（水）10時から千里山キャンパスのBIGホール100で行われた。本年度の前期課程は修士号663名、専門職大学院120名の合計783名であり、当日は修了生とそのご家族の皆様で超満員であった。

楠見学長は、修了生に対して、人生の苦難にあたっては大学院時代に経験した常にチャレンジする強い意志を持って臨むように述べた。また、グローバル化した時代には、複数の視点から判断できるように研鑽することが大切であること、修了生には、国境を越えた人類社会の正義のために活躍されることを期待しているとのほなむけの言葉を贈った。

なお、14時から学位（博士）記授与式が関西大学校友会父母会館で行われ、論文博士12名、単位修得者45名、修了者39名の計84名で、合計879名となった。

平成24年度の入学式は4月2日（月）10時から千里山中央体育館で行われた。本年度の入学者は、博士課程前期課程および修士課程627名、博士課程後期課程68名、専門職大学院103名、合計798名であった。

楠見学長は、新入生に対して、常に世界を見据え、異文化の研究者達と積極的に交わってディスカッションに参加し、人的ネットワークを構築することが重要であること、何事にも取り組む積極的な姿勢を持って充実した大学院生活を送られることを期待すると式辞を述べた。



平成24年度 大学院入学式

（博修士会 広報部）

堺キャンパスで竹内洋教授に 「日本の大学論」を聞く

平成23年度の博修士会総会が平成22年4月に開設された関西大学堺キャンパスで開催された。校友会寺内会長、成岡事務局長を来賓としてお迎えし、7月30日（土）14時から人間健康学部のSA201教室で行われた。

総会は、中原総務部長の司会で進行した。開会にあたって博修士会会員の物故者、および東日本大震災でなくなられた方がたへの黙とうをささげ、学歌斉唱を行った後、北嶋会長、寺内校友会会長のご挨拶をいただいて、議事に移った。総会では、平成22年度の事業報告、平成22年度の収支決算報告が行われ、満場一致で承認された。また、平成23年度の予算案について提案され、了承された。

続く学術講演会では、関西大学人間健康学部の竹内洋教授から「グローバル・スタンダードからみた日本の大学」と題するご講演をいただいた。竹内教授は、ご自身の関西大学との深いかわりについて触れながら、自己紹介をされた後、日本の大学改革は、グローバル・スタンダードのつまみ食いすぎず、大学の教員構成のなかで教授比率は、およそグローバル・スタンダードからは逸脱し、大学院教育を含め日本の研究水準が世界レベルからは後れを取り、高学歴ワーキングプアが増加している現状の紹介があった。最後に、竹内教授から、大手私学たる関西大学においては、文部科学省の大学行政に振り回されることなく、



竹内洋教授

私立大学としてのステータスを高める大胆な教学の姿勢とシステムを構築すべきであるとの提案が行われた。参加者一同にとって、実には、今後の関西大学の在り方を考えるよい機会となった。

特別協力金納入者名簿（五十音順、敬称略）

（平成24年3月31日現在）

天井 一夫	網本 浩幸	石川 謙太郎	井上 功	今村 隆	祝前 俊宏	江原 静
大前 英世	緒方 正則	岡本 哲和	小幡 斉	笠原 俊幸	加藤 正利	岸井 貞男
北川 勝彦	北嶋 弘一	北村 英子	木村 昌司	楠見 晴重	熊田喜三男	桑田 順市
児玉 憲夫	後藤 安子	竿田 嗣夫	笹倉 淳史	笹邊 将甫	早苗 良雄	澤 勲
鹿田 幸治	杉本 隆史	椿 信二	寺内俊太郎	内藤 征一	中下 寛治	中橋 久史
中原 住雄	西川 俊輔	西崎 義男	西田 一郎	畑 耕栄	羽生 和子	早川 貞幸
日野上輝夫	平野 裕	藤井 収	藤井 健夫	藤井 昭三	松田 充弘	松本 始
宮下 文彬	明神 信夫	武藤 哲生	村上 悦也	山本 喜章	横田 伸敬	和田 葉子
匿名希望1名						

博修士会からのお願い

特別協力金のご協力をいただきました会員の皆様には厚くお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願いいたします。1口1,000円、できれば2口以上お願いいたします。また終身会費15,000円を未納の方は、納入をお願いいたします。

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会

お知らせ!

ホームページも見て下さい!

<http://www2.ocn.ne.jp/~kandaimd/>

2012年60周年記念号

発行人 北嶋 弘一 / 編集人 北川 勝彦

発行所 関西大学博修士会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学大学院内